

保護者 様

人吉市立人吉西小学校
校長 田代 隆徳

令和5年度前期の学校評価アンケートの結果について

向寒の候、保護者の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃より本校教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、遅くなりましたが、9月末にご回答いただいた前期の学校評価の結果をご報告します。

本年度、人吉西小学校が子供たちに「育てたい資質・能力」は、「自ら学ぶ力」、「コミュニケーション能力」、「思いやる力」、「自己管理能力」、体力、「地域を愛する力」です。昨年度との比較のため、今回の学校評価アンケートでは以下の4つの項目に分類し、まとめています。

① 自ら学ぶ力・コミュニケーション力	③ 自己管理能力・体力
② 思いやる力	④ 地域を愛する心

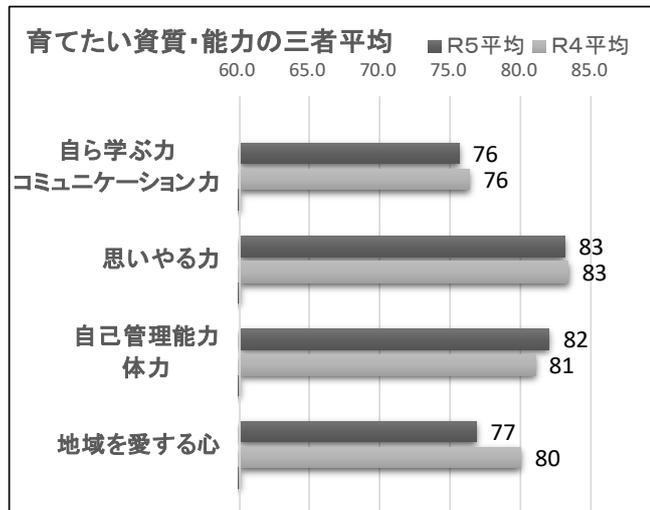
今回の学校評価の結果を、昨年度の前期とも比較しながらご覧いただき、「育てたい資質・能力」の現状を共有し、子供の成長、そして学校教育の充実につなげていきたいと思っております。引き続き、学校教育や家庭教育の充実に向けて、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

なお、自由記述については、別紙にまとめましたのでご一読をお願いします。

1 育てたい資質・能力等の学校評価について

保護者・児童・教師の評価を、次のように「点数化」し、より現状を把握しやすくしました。

・よくできている…100点 ・だいたいできている…80点 ・あまりできていない…50点 ・ほとんどできていない…0点

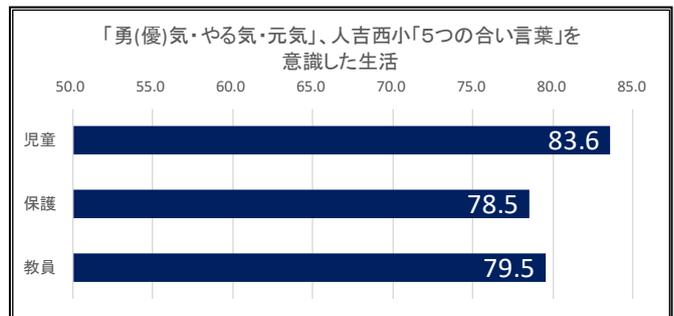


資質能力	児童	保護	教員
自ら学ぶ力 コミュニケーション力	79.9 (+3.9)	76.2 (-4.8)	70.6 (-1.4)
思いやる力	87.8 (+1.8)	80.7 (-3.3)	80.8 (+0.8)
自己管理能力 体力	83.5 (+3.5)	83.0 (-3)	79.5 (+2.5)
地域を愛する心	85.1 (+3.1)	77.3 (-4.7)	68.2 (-7.8)
平均	84.1 (+1.1)	79.3 (-4.0)	74.8 (-4.6)

()内の数字は、昨年との比較です。

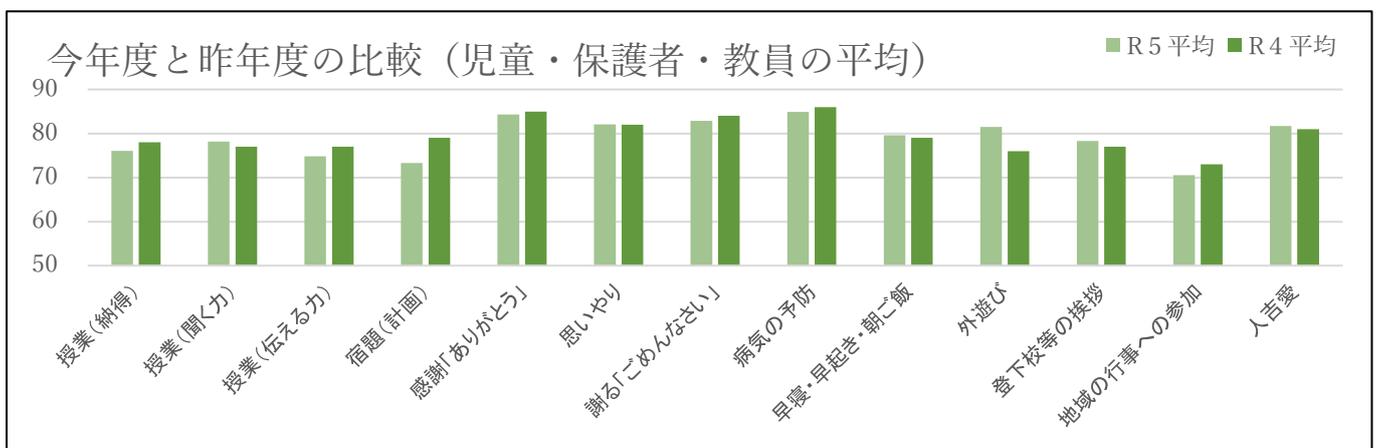
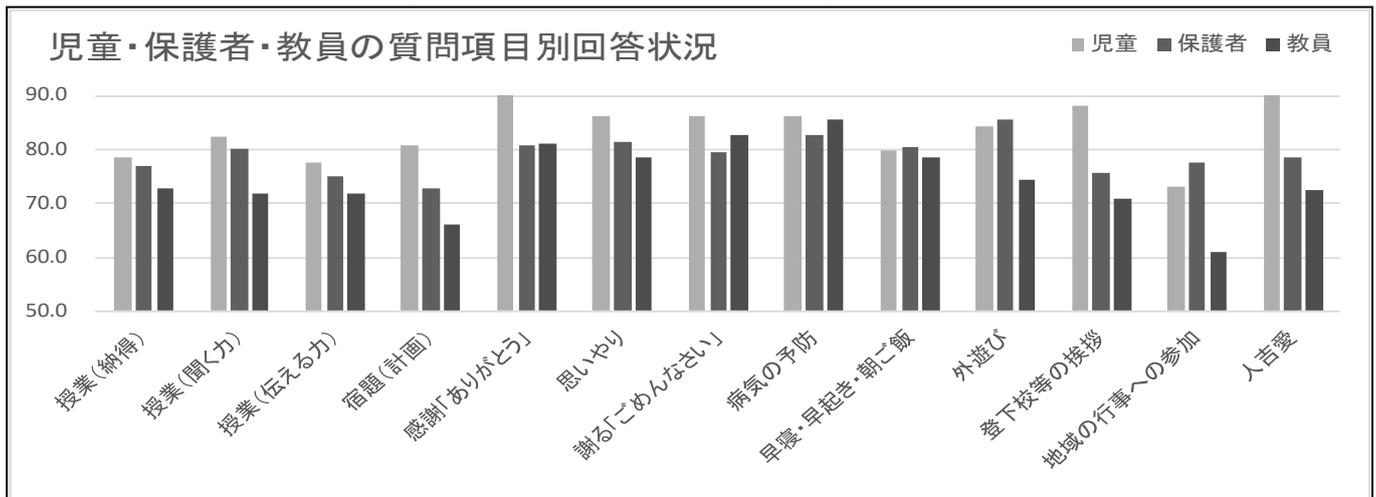
【考察】

- 児童の評価が、昨年度と比較し全ての項目について高くなっています。学校の教育活動に制限が無くなり、地域の方のご支援もいただきながら学びが充実してきていることを、子供たちも感じているようです。また、「勇(優)気・やる気・元気」を多くの児童が意識して生活できていることも大きな成果です。
- 三者の平均についても、概ね昨年と同様の結果でした。「自己管理能力」の育成については、家庭と学校が連携した、「生き生き生活大作戦」等の取組や、縦割り班での遊びの取組の成果が見られます。
- △ 保護者の評価は、全体的に昨年よりも低くなりました。「わかる」授業づくり、自分の考えを意見発表する力、宿題への取組が課題であると感じています。



2 質問項目別の学校評価について

(1) 「育てたい資質・能力」のそれぞれの質問の結果です。



(2) 上記以外の項目につきまして、昨年度と比べ、「信頼される学校」については3%のマイナス(R5:79%←R4:82%)、「働き方改革」についても3%のマイナス(R5:75%←R4:78%)となりました。今後も、保護者や地域の願いを真摯に受け止め、丁寧な対応に努めてまいります。また、定時退勤日の徹底や効率的な業務遂行を行い、教育の質の向上を図ってまいります。

3 これからの重点努力事項について

以上の結果を踏まえ、以下の4つの事項について、向上、改善をめざして取り組んでいきます。ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

(1) 「育てたい資質・能力」を五者で共有・連携・協働

学校は、知・徳・体の調和のとれた生きる力の育成をめざしています。そこで、年度当初、児童に育てたい資質・能力を検討し、教育活動を行ってきました。

今後、五者（子供、保護者、教師、地域、行政）で、この6つの資質・能力を共有・連携・協働しながら児童の育成を図っていきます。

(2) 学力の向上

今後、「学力向上を目指した4つのポイント」の取組を、更に推進していきます。

- ①学力向上（基礎学力の保障）へつながる共通実践事項の徹底
- ②授業づくりにおける振り返り活動の充実
- ③個に応じた家庭学習の充実
- ④支持的風土のある学級づくり

(3) 「五つの合い言葉」の推進

「五つの合い言葉（挨拶、勉強、掃除、思いやり、感謝）」を児童がしっかり言えて、意識しながら教育活動ができるようしていきます。

(4) 「勇（優）気・やる気・元気」の推進

人吉西小学校の学校教育目標のキーワードは「勇（優）気・やる気・元気」です。今後も、児童・職員が「勇（優）気・やる気・元気」を合い言葉に、教育活動を推進して参ります。